

令和4年2月3日

社会福祉法人 函館一条
利用者・保護者・関係者各位

「ワークセンター一条」における、新型コロナウイルス感染者発生に関して

2月2日に、社会福祉法人函館一条が運営する通所事業所 ワークセンター一条において、職員1名（事務職員）と同居家族1名に新型コロナウイルス感染が確認されました。当該職員は、当法人の感染対策マニュアルに則り、1月22日以降は出勤を自粛していたため、事業所への出入りはなく、事業所内感染の可能性がないことも併せて報告致します。

経緯を説明致しますと、当該職員の同居家族が通学する学校において、24日・25日に新型コロナウイルス感染者が確認されたため学級閉鎖となり、その時点で当該職員は出勤を自粛しております。（その間、24日・25日で当該職員と同居家族の一部がPCR検査を受けましたが、陰性でした）

27日に学級閉鎖は解除されましたが、同居家族に風邪症状が見られましたので、当該職員はそのまま自宅待機となっております。その後、同居家族に相次いで体調不良が見られたため、当該職員は無症状でしたが、出勤自粛を続けておりました。念のため2月2日に再度PCR検査を受けたところ、陽性との検査結果が出たため、保健所の指示で2月9日まで自宅療養となっております。

社会福祉法人函館一条では、今後も速やかに情報をお伝えしていきます。改めて利用者、ご家族の皆さま、地域の皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

次々と状況が変わり、予断を許さない感染拡大の情勢の中で、誰もが感染者、濃厚接触者となる可能性を等しく持っております。

当法人としましては、今後も感染者・濃厚接触者となった方やそのご家族、地域の方々の安全と健全な生活を支えるためにできる限りの努力をさせて頂く所存です。

このたびの感染者・濃厚接触者の発生に関するいわれなき差別や誹謗中傷、いたずらに個人情報を詮索する行為等は是非とも慎んでくださいますよう、心よりお願い申し上げます。

社会福祉法人 函館一条
理事長 尾形 永造

ワークセンター一条
管理者 木田 祥平